



# 栗山川のサケ たどりついたふるさと

我がふるさとの母なる川、栗山川は昔からサケが遡上し、山倉神社に奉納された記録もありますが、これがいつの頃から途絶えてしまいました。

これを憂い、いま一度サケの遡上をよみがえらせようとする地域の方々の熱い思いが実を結び、昭和51年度から稚魚の放流が開始されました。その結果、昭和55年2月5日に初捕獲が見られ、昭和61年度からは、毎年1,000尾を超えるサケが回帰しています。

## ふ化場が完成

栗山川では、昭和61～63年度までの3年間、連続して1,000尾台のサケを捕獲し、回帰率0.1%を達成しました。そこで、栗山川漁業協同組合では、水産庁にサケの増殖事業許可を申請し、今年4月に許可を得ました。

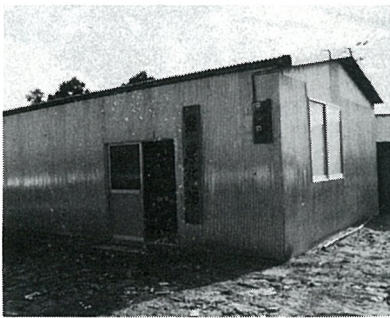
した。ふ化場はスレートぶきの建物で、屋外には直径6m高さ1mの飼育槽も設置されました。

## 自前の稚魚放流 を目ざす

栗山川に仕掛けた定置網でサケを捕獲、すぐ採卵し、受精させ、地下水を利用して約20～25日でふ化します。そして、卵のうのとれた稚魚を約1カ月飼育槽で育て、翌年3月に放流する予定で、当初の

飼育稚魚の目標は50万尾です。栗山川では、昭和51年度からサケの放流を始め、61年度に初めて1,000尾の回帰サケを捕獲し、その後、63年度まで1,000尾台を維持し、13年目にして増殖事業河川となりました。

また、4名の捕獲員さんは「14年目にして、やっと夢がかなった。将来は、更に施設を拡大し、100万尾の稚魚を放流したい。」と語ってくれました。



完成したふ化場

## 年度別放流数と捕獲数

年度	55	56	57	58	59	60	61	62	63
放流数	千尾 853	千尾 880	千尾 908	千尾 1,020	千尾 1,000	千尾 933	千尾 1,100	千尾 1,100	千尾 1,000
捕獲数	尾 25	尾 170	尾 57	尾 770	尾 331	尾 497	尾 1,655	尾 1,884	尾 1,066

(注) 放流は、昭和51年度から行っています

